

令和3年2月1日

未来への扉17

校長 平野 雅仁

みなさん、おはようございます。

早いもので、月が改まり、2月になりました。

旧暦では、如月(きさらぎ)。まだまだ寒さが厳しい季節ですので、更に衣を重ね着するということから(衣更着・ころもをかさねぎ・きさらぎ)、また、寒い冬が終わり、春に向かって、「木々がさらに成長する・万物が動き始める」季節などと言われています。

明日(2月2日)は、節分です。季節の変わり目は、体調を崩したり疫病が流行ったりします。そして、昔から季節の節目には、節会を行って、邪気を払って、無病息災を祈ってきました。3月3日(雛祭り)・5月5日(端午の節句)・7月7日(七夕)・9月9日(重陽の節句)などは、皆さんもよく知っていますね。

2月2日も3日の立春を迎える季節の節目に当たります。(暦の上では、124年ぶりに4日ではない立春です。)

では、なぜ、『豆まき』をするのでしょうか。

それは、『豆』は『魔・ま』を『滅・めつする』するとも書きます。鬼に豆をぶつけることで、邪鬼を追い払い、一年の無病息災・厄除けを願う意味があるのです。

昔から鬼退治の伝説や逸話はたくさんあります。図書室でも紹介しましたが、芥川龍之介の『羅生門』は、人の心が鬼になる話です。また、最近では、『鬼滅の刃』も鬼退治の話ですね。今の状況もそうですが、人が、見えないものに対する不安や恐れをもつ気持ちは、今も昔も変わりありません。自分の中にある鬼の部分・邪気を追い払きましょう。

さて、もう一つ豆を何個食べたらよいかということもあるようです。自分の年と同じか、一つだけ多く食べると体が丈夫になり、風邪を引かないと言われています。豆腐や恵方巻などを食べて、体の中からも栄養を蓄えていきましょう。

そして、自分の中いる追い出したい鬼はいませんか？

最後までやり遂げられない「中途半端鬼」、何事にも渋々で「めんどくさがり鬼」、いつもイライラしている「おこりんぼう鬼」など、ぜひこの機会に追い出しましょう。

3年生は、いよいよ入試本番です。

心を落ち着けて、今まで通り冷静に力を発揮してきてください。

朗報を待っています。

1・2年生も進級に向けて、少しずつ準備をしていきましょう。

何事も準備や段取りで成果は決まります。

最後に、東京都教育委員会は 6 月・11 月・2 月をいじめ防止強化月間・「ふれあい月間」と定めています。アンケート調査で「いじめは絶対に許さないこと」や「友達同士の関わり合い」などを調査します。

そして、ご家庭と連携しながら健全育成に努めていきます。いじめ防止を最重点課題としています。何気ない友達同士の会話を耳にすると、相手に対する注意の言葉が強く、上下関係の存在を感じる時があります。言われた側はなかなか言い返せず、心の中にわだかまりが残るだろうと懸念される場面では、その場で注意します。善意のつもりで伝えても、相手の心を傷つけてしまっては本来の意図にはなりません。心ない言葉は時として刃物より鋭く心を傷つけます。

また、最近では、SNSやラインなどでの誹謗・中傷があります。そんな時は、「困っている」「つらい」とか、弱音を言ってもかまいません。「弱音を言えることは、本当の勇気だと思います」みなさんの中には、誰かに嫌なことをされても、病気で具合が悪くても、何かつらいことや悩みがあっても、家で困ったことがあっても、弱音を言っただけでいいと思っている人がいるかもしれません。もちろん、一人で頑張っ、自分の力で乗り越えることも大切です。でも、時には頑張らないで、弱音を言うことも必要です。一人では解決できないことがたくさんあります。大切なことは、まわりの誰かと一緒に解決していくことです。困ったときは、勇気を出して弱音を言ってください。悩んだり、つらかったりしたときは、3人の人に相談するといいいとされています。3人に相談すれば、自分の気持ちを分かって、寄り添ってくれる人が必ずいると言います。担任の先生はもちろん、学校にはたくさんの大人がいます。話しやすい人に相談したり、アンケートに書いたりしてください。

いつものように「いじめのアンケート」を各クラスで行います。「いじめ」を受けている人を見たり、聞いたりしたことや自分自身が「いじめ」にあっているという人は、アンケートに答えてください。

それでは、「鬼は外 福を内」

一日一日が早いです。感染予防に心掛けながら、日々大切に過ごしましょう。

(全校朝礼より)

